

2019（平成 31-令和元）年度

事業報告書

〔概要版〕



神戸商工会議所
The Kobe Chamber of Commerce and Industry

I 総括的概要

2019（平成31ー令和元）年度のわが国経済は、世界経済の減速感や深刻化する米中貿易問題などの影響を反映し、長らく続いてきた景気回復基調からの転換期を迎えつつあった。その一方で、「令和」新時代を迎えて、旺盛なインバウンド需要が追い風となって引き続き景気を下支え、10月に引き上げられた消費税増税の影響が懸念されたものの、企業収益や雇用環境は総じて好調を維持した。

神戸においては、ゴールデンスポーツイヤーズの幕開けとなるラグビーワールドカップ2019TM日本大会が成功裏に開催され、欧米を中心に多くの来訪客を迎えたほか、念願であった神戸空港の規制緩和がようやく一部実現し、新たな航空会社の参入もあって増枠された便数枠（80発着便）が埋まるなど、新たな需要や賑わい創出への期待が膨らんだ。

その最中の年明け以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、好調であったインバウンドの収縮やサプライチェーンの寸断を余儀なくされ、渡航制限や自粛要請も加わって、経済活動が一気に急減速する事態に陥った。

こうした状況下において、神戸商工会議所では、3カ年計画「KOBE Challenge ～新たな都市バリューの創造～」の最終年度を迎え、「イノベーションへの挑戦」「地域活力の創造」「中小企業の持続的成長への支援」「会員参画と活動基盤の強化」の4項目を柱に各種事業を展開した。

特に、人手不足問題やデジタルテクノロジーの進化を念頭に、「生産性の向上」を当年度の重要なキーワードとして掲げ、その実践に取り組んだ。

具体的には、AI技術のビジネスへの活用やモノづくり企業の実践的なIoT導入を支援したほか、人材不足・働き方改革・事業承継などの個別課題の解決を後押しした。

さらには、都市基盤に係るプロジェクトの加速推進、商談会やテスト販売機会の提供による販路開拓の場づくり、スポーツやヘルスケア分野のビジネス創出などを通じて、神戸経済ビジョンの実現を目指した。

加えて、ラグビーワールドカップ2019TM日本大会の神戸開催を機に、関係機関との連携の下、都市魅力の発揮による国内外からの誘客促進に努めた。

令和2年に入り、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、直ちに緊急対策本部を設置すると同時に、感染拡大の抑止や中小企業・小規模事業者への緊急融資をはじめとするセーフティネット対策に着手した。

また、当年度は任期満了による役員・議員の改選を行い、11月には家次会頭が再任され、2期目となる同体制がスタートした。

2019年度の主な事業活動は、以下の各項目に掲げる通りである。

I. イノベーションへの挑戦

1. デジタルテクノロジーの活用による生産性向上

IoTによる生産管理やビッグデータのビジネスへの活用等をテーマとするセミナーを開催し、中小企業の生産性向上への啓発に努めた。併せて、産業技術総合研究所との連携により、人工知能技術コンソーシアム神戸支部ワーキンググループを設立し、AI 技術のビジネス活用の推進を目的としたセミナーや個別企業への支援を行った。

また、スーパーコンピュータ「富岳」の整備が進む中、産業用小型スパコン「FOCUS」の利用促進・普及啓発を通じて、裾野の拡大に取り組んだ。

このほか、各種展示商談会の開催協力や会員企業の出展支援を行い、管内ものづくり企業の持つ高い技術を内外にアピールした。



次世代産業フォーラム in KOBE (9月)

■■■主な事業内容

- ① 次世代産業フォーラム in KOBE 2019 (6回/出席者延べ461名)
- ② ものづくりIoTセミナー2019 (2回/出席者235名)
- ③ スーパーコンピュータ・ソリューションセミナー2019 (9月/出席者130名)
- ④ 人工知能技術コンソーシアム神戸支部ワーキンググループの設立・事業活動への協力
- ⑤ 国際フロンティア産業メッセ (9月/出展522社/来場者30,000名)

2. スポーツ・ヘルスケア産業分野におけるビジネス創出



身近なスポーツの体験事業「SUMA SPORT DAY」
(12月)

平成30年度に発足した「神戸スポーツ産業懇話会」では、神戸におけるプロスポーツの現状やスポーツ産業の展望等について見識を深め、今後のスポーツ産業振興の手がかりを探った。

また、身近なスポーツの体験事業や実態調査の実施、健康経営推進事業への開催協力等を通じ、企業や従業員のスポーツ実施率の向上に努めた。

さらに、神戸市や関係機関とともに、神戸医療産業都市の推進にあたったほか、京阪神3商工会議所で組織する「ライフサイエンス振興懇談会」では、国等への規制緩和要望やフォーラム等の共同開催を通じて、同分野におけるマッチングやビジネス創出を図った。

■■■主な事業内容

- ① 神戸スポーツ産業懇話会（メンバー99社・団体/特別公開セミナー3回/例会4回）
- ② 第1回スポーツビジネスマッチングセミナー（9月/出席者39名）
- ③ 神戸発祥スポーツ事業（2回/参加者114名）
- ④ スポーツ実施率・アクティブライフに関する実態調査2019（11月/回答1,875名）
- ⑤ スポーツハブ KANSAI 事業（セミナー1回/ビジネスマッチング例会2回/シンポジウム1回/参加者534名）
- ⑥ ヘルスケア（健康・医療）産業振興懇談会（メンバー15社）
- ⑦ 神戸医療産業都市推進協議会の運営（会員422社）
- ⑧ デジタルヘルス人材交流セミナー（11月/参加者135名）
- ⑨ 次世代医療システム産業化フォーラム2019（計7回/参加企業137社）

3. 新たな成長に向けた企業戦略構築への支援

新たなビジネスを生み出すクリエイティビティの醸成を目的に、「デザイン思考」をテーマとするセミナーやワークショップを開催した。

また、デザイナーのネットワーク組織「Design Port」を活用すべく、神戸で活躍するクリエイターと企業の出会場の場としてのイベント「CROSS」を神戸市と共催した。

さらに、国の「スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」に基づく「グローバル拠点都市」への被選定を目指し、京阪神3商工会議所連名による要望を行うとともに、産学官が連携して「ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム」を設立し、世界で活躍する企業を輩出するための土壌づくりに取り組んだ。



神戸で活躍するクリエイターと企業の出会場の場「CROSS Vol. 3」（令和2年1月）

■■■主な事業内容

- ① デザイン思考講座（2回/出席者延べ93名）
- ② 神戸で活躍するクリエイターと企業の出会場の場「CROSS」（3回/参加者延べ238名）
- ③ クリエイティブ・ヴィレッジの運営（例会6回/メンバー22名/オブザーバー2名）
- ④ デザイナーのネットワーク組織「Design Port」の運営（登録99社）
- ⑤ 東神戸支部・神戸の食の未来を考える会による三宮ヨルバルへの出展（6社・団体）
- ⑥ ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアムの設立（12月）

II. 地域活力の創造

1. 都市魅力の発揮による国内外からの誘客強化

ラグビーワールドカップ 2019™日本大会の神戸開催にあたり、欧米豪を中心とする海外からの観戦者の受入環境整備を進め、大会に向けての機運醸成を図るため、夜間の消費促進をテーマとするセミナーを開催するとともに、(一財)神戸観光局と連携の上、関連事業の情報発信等を行った。

また、神戸ルミナリエや神戸まつり、みなとこうべ海上花火大会等、各種イベントの開催に協力した。



夜の観光「ナイトタイムエコノミー」セミナー（7月）

■ ■ ■ 主な事業内容

- ① 夜の観光「ナイトタイムエコノミー」セミナー（7月/参加者 82名）
- ② ジャパンラグビー トップリーグカップ 2019 観戦ツアー（7月/参加者 100名）
- ③ 第49回神戸まつりへの協力（5月/来場者 97万名）
- ④ 第49回みなとこうべ海上花火大会への協力（8月/来場者 31万名）
- ⑤ 第25回神戸ルミナリエへの協力（12月/来場者 346万名）

2. 都市基盤整備の加速化



関西3空港懇談会（5月）

都心・三宮地区の再整備や大阪湾岸道路西伸部等の道路ネットワークをはじめ、他都市に比べて大きく遅れをとっている都市インフラの早期整備に向けて、地元自治体や国への要望活動等を重ね、前倒しによる事業の加速化について強く働きかけた。

また、神戸空港の機能拡充を図るべく、長年にわたり兵庫県・神戸市とともに規制緩和を求めてきたが、5月に開催された「関西3空港懇談会」において、最大発着回数拡大（1日60回から80回へ）並びに運用時間延長（夜22時までが夜23時まで）が実現した。併せて、令和7年頃までを目途として、

関空・伊丹を補完する観点から国際化を含む空港機能のあり方についても検討されることとなった。

これを受け、新規エアラインの参入や既存路線における増便もあって、就航先が広がるとともに、拡大された発着枠も全て埋まることとなった。

このほか、神戸港の集貨・創貨促進のための企業向け支援や広報活動、物流機能強化に向けた施策展開への協力に努めた。

■■■主な事業内容

- ① 「都心三宮再整備推進会議」への参加を通じた都心・三宮再整備の推進（9月）
- ② 第9回関西3空港懇談会（5月/出席者15名）
- ③ 神戸空港利用推進協議会の運営（会員数352社・団体）
- ④ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（8月・10月）
- ⑤ 「国際物流戦略チーム」「神戸港中期計画研究会」への参加を通じた神戸港の物流機能強化への参画

Ⅲ. 中小企業の持続的成長への支援

1. 商談機会の提供と企業間アライアンスの促進

特定のテーマに沿って自社商品を売り込む逆見本市形式の商談会「販路開拓市」を2回（商談278件）、事前調整を行った上で商談を行う「個別商談会」を計16回（商談298件）をそれぞれ実施した。

また、企業間の様々な出会いの場づくりを目的とした「兵庫・神戸アライアンス商談会」（2回/商談385件）などを開催した。

さらに、「ひょうご・神戸合同商品展示会」を開催したほか、「FABEX 関西2019」をはじめとする大規模展示会に共同出展ブースを設け、国内外の大手バイヤーに向けたPR・商談機会を提供した。

このほか、主要駅等の公共施設内や商業施設内にテスト販売スペースを一定期間提供する「テスト販売・マーケティングリサーチ支援事業」を6か所で実施した。



2020 ひょうご・神戸合同商品展示会
（令和2年1月）

■■■主な事業内容

- ① 販路開拓市（2回/バイヤー12社/サプライヤー76社/商談278件）
- ② バイヤー招聘型個別商談会（16回/参加企業298社）
- ③ 兵庫・神戸アライアンス商談会（2回/参加企業延べ252社/商談延べ385件）
- ④ 大手企業とのビジネスマッチング説明会・個別面談（説明会：5月/参加者64名、個別面談：7月/商談33件）
- ⑤ 2020ひょうご・神戸合同商品展示会（令和2年1月/出店90社/来場者400名/商談2,000件）
- ⑥ 大規模展示会への出展（3回/出展企業延べ35社/商談延べ1,351件）
- ⑦ テスト販売・マーケティングリサーチ事業（6か所/延べ231日/出店延べ79社）
- ⑧ 販路開拓サポートセミナー（5回/参加者272名）

2. 海外ビジネス展開への支援

新たなビジネスチャンスの可能性を探るため、ベトナムに国際ビジネスミッションを派遣し、現地企業をはじめ、日系企業、経済団体、金融機関等との懇談・交流を行った。

また、アジア最大級の国際総合食品見本市である「香港フード・エキスポ 2019」への会員企業の出展を支援した。

このほか、神戸を中心とした在関西の外国人ビジネスパーソン・外交官等と会員企業とのビジネス交流を目的とした「KCCI International Exchange Meeting」を開催した。

さらに、「グローバルビジネスセミナー」をはじめ、現地の投資環境や商取引に係るセミナー等を開催したほか、地元中小企業の海外ビジネス展開を支援するため、国際取引に関する各種相談に応じた。

なお、原産地証明ほか貿易関係証明書を 24,261 件発給した。



神戸ーベトナムビジネス交流ミッション
(11月)

■■■主な事業内容

- ① 神戸ーベトナムビジネス交流ミッションの派遣 (11月/団員 11名)
- ② 香港フード・エキスポ 2019 への出展支援 (8月/出展企業 5社/商談 84件)
- ③ グローバルビジネスセミナー(7月/出席者 47名)
- ④ 中小企業のためのベトナム最新動向セミナー (7月/出席者 49名)
- ⑤ KCCI International Exchange Meeting (10月/出席者 73名)
- ⑥ 海外市場開拓や国際ビジネスに関するセミナー (27回/参加者延べ 1,554名)
- ⑦ 兵庫/関西・ホーチミン経済促進会議 (11月/参加者 54名)
- ⑧ 表敬訪問受入 (5件)
- ⑨ 国際ビジネス取引に関する相談対応 (52件)
- ⑩ 貿易関係証明の発給(特定原産地証明 7,792件/原産地証明 11,252件/インボイス証明 1,100件/サイン証明 4,117件)

3. 創業・事業承継・事業再生への対応

創業までの基礎知識やビジネスプラン作成のノウハウ等を伝授する「KCCI 創業塾」や起業を目指す人や創業間もない事業主を対象に「KCCI 創業塾実践セミナー」を開催し、経営に必要な知識や創業準備に役立つ各種情報の提供に努めた。

一方、事業承継が困難な中小事業者の経営資源を他の意欲ある経営者へ引き継ぐことを支援する「兵庫県事業引継ぎ支援センター」を運営した。

また、「兵庫県中小企業再生支援協議会」では、事業再生に係る相談に応じ、41件に上る再生計画策定支援を行い、「兵庫県経営改善支援センター」の運営を通じて、各支援団体が実施する中小・小規模事業者の経営改善・事業再生計画づくりを後押しした。

■■■主な事業内容

- ① KCCI 創業塾（第 21 期/4 回/受講者 21 名）
- ② KCCI 創業塾 2019 実践セミナー（11 回/受講者延べ 181 名）
- ③ 開業予定者のための創業相談対応（457 件）
- ④ 兵庫県事業引継ぎ支援センター（セミナー2 回/個別相談会 1 回/相談 181 社/成約 10 件）
- ⑤ 兵庫式 M&A サポートシステム（セミナー2 回/相談 6 件/成約 1 件）
- ⑥ 第 2 期後継者塾（5 回/受講者 19 名/個別相談会 4 回）
- ⑦ 兵庫県中小企業再生支援協議会の運営（相談 84 社/再生計画策定支援完了 41 件）
- ⑧ 兵庫県経営改善支援センターの運営（経営改善計画策定に係る利用申請 29 件/早期経営改善計画策定に係る利用申請 50 件）

4. 人手不足・働き方改革への支援強化

新卒者や若年層の人材不足に悩む地元企業を支援すべく、大学キャリアセンターとの情報交換の場を設けるとともに、合同就職面談会や外国人留学生を対象とした合同企業説明会を実施した。

また、企業の人材不足の現状および対応状況を把握するため、「人材確保と定着・育成に関する実態調査」を実施した。

加えて、「KCCI ビジネススクール」を開講し、分野別・階層別の 78 講座に延べ 1,477 名が受講したほか、会員事業所の個別ニーズに対応したオーダーメイド研修を 16 件実施した。

さらに、検定試験を 16 種目、認定試験 2 種目を施行し、延べ 12,577 名が受験した。



企業と学校法人との就職情報交換会 in KOBE
(10 月)

■■■主な事業内容

- ① 企業と学校法人との就職情報交換会 in KOBE（10 月/参加企業 78 社/出展大学 20 校）
- ② 兵庫県合同就職面談会（8 月/出展企業 60 社/来場者 140 名）
- ③ 2020 年度インターンシップ説明会（令和 2 年 2 月/参加企業 52 社/出展大学 35 校）
- ④ 外国人留学生のための合同企業説明会（6 月/出展企業 41 社/来場者 478 名）
- ⑤ インターンシップの導入支援セミナー（2 回/受講者 31 名）
- ⑥ 人手不足の現状と定着に向けた取り組みに関する実態調査（8 月/回答 532 社）及び講演会（令和 2 年 2 月/参加者 36 名）
- ⑦ KCCI ビジネススクール（階層別・分野別研修 78 講座/受講者延べ 1,477 名/オーダーメイド研修 16 件/外部提携講座他 5 件）
- ⑧ 検定試験・認定試験（18 種目/受験者 12,577 名）

5. 経営基盤の強化に向けた相談体制の充実



公的融資説明会（5月）

小規模事業者に対する経営サポートとして、経営指導員による巡回指導や窓口相談のほか、専門家派遣や弁護士・税理士・社会保険労務士等が個別相談に応じる総合専門相談室等を通じて、延べ22,449回にわたり相談・指導を行った。

また、当商工会議所が日本政策金融公庫に対して融資の推薦を行う「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」は、推薦件数325件、推薦額2億3,198万円となった。

さらに、新商品・サービスの開発などに取り組む前向きな事業所を積極的に支援するため、サ

ポート業務の強化とともに、当商工会議所独自の支援策を付加するなど、経営革新計画の策定支援に取り組んだ。

■■■主な事業内容

- ① 経営に関する相談指導（巡回相談 15,105件/窓口相談 7,077件/専門家派遣指導 47件/総合専門相談室相談 220件/記帳継続指導 151事業所/集団指導 63件）
- ② 経営・技術強化支援（エキスパートバンク）事業（登録 665名/指導 121件）
- ③ 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）の推薦（325件/2億3,198万円）
- ④ 各種制度融資の斡旋（262件/29億3,554万円）
- ⑤ 公的融資説明会（5月/出席者 38名）
- ⑥ 経営革新計画策定支援（知事承認 14社）
- ⑦ 経営革新等支援機関としての各種補助金申請支援（申請 423件/採択 289件）
- ⑧ 小規模企業共済制度の加入促進（加入 43件）
- ⑨ 中小企業倒産防止共済制度の加入促進（加入 155件）
- ⑩ 消費税率引き上げ及び軽減税率制度導入に対する支援
- ⑪ 経営トップセミナー（計 3回/参加者計 346名）
- ⑫ サムライ神戸ネットワーク（登録 222名）
- ⑬ 「ひょうご・神戸経営相談センター」の機能強化

IV. 会員参画と活動基盤の強化

1. 会員サービス事業の充実

当商工会議所のスケールメリットを活かした経営者・従業員を対象とする各種共済・保険制度の運営をはじめ、クレジットカード包括代理契約事業「こうべ de カード」や高速道路料金の経費負担を軽減する ETC カード事業、健康診断、提携施設割引等の会員向けサービスの提供・充実に努めた。

また、永年にわたり当商工会議所会員として、当商工会議所活動並びに地域経済・社会の発展を支えていただいた事業所への永年会員表彰式を執り行った。



永年会員表彰式（令和2年1月）

■■■主な事業内容

① 共済・保険事業

- ・ 生命共済制度（加入 2,540 社/11,055 名）
- ・ 特定退職金共済制度（加入 1,079 社/7,324 名）
- ・ 個人拠出制年金共済制度（加入 1,820 名）
- ・ 自動車共済（加入 48 社/164 台）
- ・ がん保険、国内外 PL 保険制度、休業補償プラン、フルガード 2000、業務災害補償プラン、ビジネス総合保険 他の募集推進

② 各種会員サービス事業

- ・ こうべ de カード事業（加盟 1,054 店）
- ・ ETC カード事業（加入 138 社/645 台）
- ・ 提携施設優待割引サービス（318 施設）
- ・ 中小企業 Web 研修事業（登録 106 社/1,874 アクセス）
- ・ 健康診断（受診者 1,830 名）
- ・ 会員映画試写会（11 月/参加者 260 名）
- ・ 福利厚生代行サービス（CLUB CCI 加入 18 社/ベネフィット・ステーション 加入 10 社）
- ・ 労働保険事務代行サービス（受託 371 件）
- ・ 宛名ラベル作成サービス（利用 19 件）
- ・ DM 配送代行サービス（利用 85 件）

③ 表彰

- ・ 会員事業所優秀功労者表彰（10 月/被表彰者 122 名）
- ・ 永年会員表彰（令和2年1月/在籍50年表彰20社、在籍30年表彰168社）

④ 神戸商工会館の運営（会議室利用 927 件/入居テナント 14 社・団体）

2. 商工会議所プレゼンスの発揮

地域総合経済団体として、中小企業対策や地域活性化策に関する 8 件の要望をとりまとめ、国、兵庫県、神戸市等に提出した。

また、意見活動や行政に対する要望等に反映することを目的に、経営経済四半期動向調査をはじめとする各種調査を実施した。

さらに、機関誌等の既存媒体に加え、ホームページやメールマガジン等のデジタル媒体を通じて、当商工会議所の事業活動や国・行政の施策に関する広報周知・各種情報の提供に努めた。



令和 2 年度神戸市政に関する要望（9 月）

■■■主な事業内容

① 政策提言・要望

- ・ 地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望（5 月）
- ・ スーパーコンピュータ「富岳」の産業利用促進に関する要望（7 月）
- ・ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（8 月・10 月）
- ・ 令和 2 年度神戸市政に対する要望（9 月）
- ・ 令和 2 年度兵庫県政に対する要望（10 月/兵庫県商工会議所連合会）
- ・ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（10 月）
- ・ 関西圏におけるライフサイエンス産業振興にかかる要望（10 月）
- ・ スタートアップ・エコシステム拠点形成に向けた要望（11 月）

② 意見交換会・懇談会

- ・ 日本銀行との金融経済懇談会（11 月）
- ・ 関西広域連合と関西経済界との意見交換会（令和 2 年 1 月）
- ・ （公社）関西経済連合会との懇談会（令和 2 年 3 月）

③ 調査

- ・ 経営経済四半期動向調査（四半期毎、計 4 回/対象 100 社）
- ・ 兵庫県政・神戸市政等に関する要望アンケート調査（4～6 月/全会員対象）
- ・ 日本商工会議所 LOBO（早期景気観測）調査への協力（毎月/対象 2 社）

④ 広報

- ・ 神戸商工だより（年 10 回発行）
- ・ 神戸商工だより Information（年 12 回発行）
- ・ ホームページの開設（URL：<https://www.kobe-cci.or.jp/>）
- ・ メールマガジン（月 2 回発信/登録数 4,116 件）
- ・ FAX 同報通信（月 3 回発信）

3. 会員組織の維持拡大と財政基盤の強化

業種・業態や規模を超えて、会員相互に交流・親睦を深め、人的ネットワークの形成・拡大を図るとともに、当商工会議所が行う地域経済活性化への取り組みに対する理解や参画、事業利用を促進することを目的とし、「会員ミーティング」や「会員ビジネス交流会」「新会員懇談会」「支社長・支店長懇談会」を開催した。

また、会員事業所それぞれが抱える経営課題の解決や異業種間の交流等を目的として、女性会や支部交流会を運営した。

なお、2019年度末（令和2年3月末）現在の会員数は、10,991であり、前年度末比49の純減であった。



会員ミーティング（2020年1月）

■ ■ ■ 主な事業内容

- ① 会員ミーティング（令和2年1月/参加者251名）
- ② 会員ビジネス交流会（11月/参加者26名、令和2年2月/参加者22名）
- ③ 新会員懇談会（8月/参加者90名）
- ④ 支社長・支店長懇談会（令和2年2月/参加者113名）
- ⑤ 女性会（月例懇談会7回/会員数107名）
- ⑥ 企業広報研究会（会員70社/定例会5回/社内報研究会4回）
- ⑦ 令和2年新年合同祝賀会（令和2年1月/参加者1,600名）
- ⑧ 支部交流会
 - ・ 東神戸支部 神戸の食の未来を考える会（例会9回/視察会1回）
 - ・ 西神戸支部 長田活性化研究会（例会10回）
 - ・ 西神戸支部 会員交流会 WAIWAI（交流会3回）
 - ・ 西神戸支部 さん金会（例会9回）

【会 員 数】

10,991 会員（令和2年3月末現在）

4. 役員・議員改選



役員・議員就任披露パーティ（12月）

2019年度は、3年に一度の役員・議員改選にあたり、10月、任期満了に伴う役員・議員の改選を行った。

11月8日に開催した臨時議員総会において、家次会頭が再任されるとともに、副会頭6名、専務理事、常議員38名、監事3名が選任され、家次体制の2期目がスタートした。

また、役員・議員改選に併せて12月には委員会の改編を行い、企業経営委員会を「中小企業委員会」に、地域整備推進委員会を「都市力強化委員会」にそれぞれ改組した。

V. 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年1月下旬、日本人初の新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来、国内では、3月末現在1,494名の患者が確認された。

感染の拡大に伴い、通常的生活のあらゆる場面において自粛が求められ、企業活動に大きな影響が出た。

当商工会議所では、直ちに家次会頭を本部長とする対策本部を立ち上げ、新型コロナウイルス感染の拡大により影響を受けた市内中小企業・小規模事業者を対象とする緊急相談窓口を東神戸・中央・西神戸各支部に設置するとともに、主要企業を対象に影響調査を実施した。

また、地元企業の商品販売を支援するサイトを立ち上げるとともに、行政との意見交換会の場で適切かつ迅速な支援を要望した。



新型コロナウイルスに負けない！地元企業の“緊急”販売プロジェクト Web サイト

■ ■ ■ 主な事業内容

- ① 新型コロナウイルス感染症対策本部の設置（令和2年3月）
- ② 新型コロナウイルスに関する緊急相談窓口の設置（3支部）
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大に関する影響調査（令和2年3月/対象100社）
- ④ 新型コロナウイルスに負けない！地元企業の“緊急”販売プロジェクト（サイト開設：令和2年3月/掲載企業8事業所）
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に関する神戸市との意見交換会（令和2年3月）